

JSA 職員が令和 8 年度産業標準化事業表彰
イノベーション・環境局長表彰を受賞

2026 年 10 月 16 日
一般財団法人日本規格協会

令和 8 年 10 月 14 日（水）に、経済産業省により令和 8 年度産業標準化事業表彰の表彰式が行われ、JSA グループの嶽北 慎子職員（システム系・国際規格開発ユニット 基本規格チーム 主席専門職）・野田 孝彰職員（標準化企画・管理ユニット 規格管理・情報化推進課長）・野原 慈久職員（グループ管理ユニット 経理課長）が『イノベーション・環境局長表彰（規格開発・認定・認証部門）』を受賞しました。

【主な功績】

○嶽北 慎子職員

2017 年より ISO/TC 176(品質管理及び品質保証)の国内委員会事務局として、委員長・エキスパート等を補佐し、ISO 9000 ファミリー規格改訂に貢献。

また、マネジメントシステム規格(MSS)間の統合化を検討する ISO/TMB/TAG(技術諮問グループ)の国内委員会事務局や TF 2(MSS タスクフォース)エキスパートを歴任し、JIS Q 9001(品質マネジメントシステム-要求事項)、JIS Q 27001(情報セキュリティマネジメントシステム-要求事項)等の原案作成事務局や適合性評価等の JISC 専門委員を務める等、国際規格の迅速な JIS 化と国内普及を支え、日本の産業の品質・競争力向上に貢献。

○野田 孝彰職員

JIS 策定の迅速化を図る「特定標準化機関(CSB)制度」の具現化に向けた体制構築のプロジェクトリーダーを務め、同制度の導入に大きく貢献。また、同様に JIS 策定の迅速化を図る「認定産業標準作成機関」の体制構築にも主要メンバーとして重要な役割を果たした。さらに、JIS 原案作成委員会事務局として 45 件の JIS 原案を作成したほか、土木、建築、溶接、窯業、機械要素、基盤及び化学分野の計 194 件の JIS 原案作成委員に参画するなど、JIS の質的向上にも貢献。こうした規格策定に関する専門的な経験をいかし、日本を代表して ISO 理事会傘下の IT 戦略諮問グループ(ITSAG)の委員を務めた。

○野原 慈久職員

産業標準化法の改正によって、JIS の策定を民間主導で迅速に進める認定産業標準作成機関制度が導入された際、氏は、先行事例がない環境下で、第 1 号の認定機関となるためプロジェクトリーダーを務め、体制構築の企画立案と調整、人材育成等に従事。また、原案作成団

体への制度説明や事務調整を主導しつつ、産業標準作成委員会の創設や研修の運営等も実施。認定後も認定範囲の段階的な拡大に尽力。結果として、年間約 20～70 件の JIS 制定・改正の迅速化に貢献。



受賞者（左から嶽北職員、野原職員、野田職員）と JSA 理事長 朝日弘